

# 住民の声

地域で頑張っている方たちの声をお聞きしたく、今回は、馬荷地区をお伺いしました。

馬荷地区は、大方地域の西部を流れる蛸瀬川の上流域に位置し、戸数99戸、人口224人、高齢化率41・5%の現況です。上流部から福堂、中馬荷、下馬荷の3集落からなり、それぞれに小組合組織があつて地区内の様々な行事等に取組んでいるとのことで、お伺い

した昨年末には福堂小組合の年末会と、その後の親睦会が賑やかに。(左上写真)

地元の産品では、古くからの「七立栗」やアルカリ性単純硫黄冷鉱泉で知られる「馬荷温泉」が有名です。

また、平成15年に当地区と周辺の御坊畑、大方橋川の3地区連携で「蛸瀬川地域づくり協議会」を立上げ、旧馬荷小学校を拠点に地域活性化にも積極的に取り組んでいます。



◀ 福堂地区の守り神「須賀神社」



▲ 中馬荷地区の守り神「八幡宮」



▲ 七立栗の出荷中です



▶ 下馬荷地区の守り神「嶋神社」



▶ 地域づくりの拠点 旧馬荷小学校



▲ 音楽に合わせスカーフが宙を舞いました！ (あつたかふれあいセンター かせきサテライトにて)

## ♡ 矢野 健康区長の声 ♡

地区内の3集落それぞれのもとまりが、地区全体のまとまりにつながっていると感じています。

地区内の行事の内、盆踊りや花火大会、県道の草刈りなど、大きな事業は主に青壮年部に。また、年3回の愛校作業などは、加えて老人クラブや住民ボランティアの皆さんにもお世話になっております。

昨年4月からの、毎月曜

日開催の「あつたかふれあいセンター」や、2カ月毎に3地区持ち回りで開催の「ふれあいサロン」も、住民ボランティアのご協力により定着し、地域の楽しみ、憩いの場となっています。

議会や行政への一言ですが、年々着実に進めて頂いています県道・町道の整備

や、地場産品を活かした地域おこしに、より一層の取り組み・力添えをお願いいたします。

## 編集後記

今回の「住民の声」の取材で、福堂地区の年末会とその後の親睦会に参加させて頂いた折、この親睦会が、出し合い話的ながらも住民全員での意思決定をされている年末会や、普段の当地区の結束、また元気の源になっていると感じました。

それと同時に、今年度の議員県外研修の一つ「ふるさと納税日本一の長崎県平戸市の取組み」の中にあつた、メディア取材の前に、まずは「飲みニケーション」という言葉を思い出しました。

この時期は、忘年会や新年会と「飲みニケーション」の機会が多くなりますが、意見や情報の交換、また、親交をより深められればと思います。

広報委員一同

## 議会広報常任委員会

- 委員長 宮川 徳光
- 副委員長 藤本 岩義
- 委員 浅野 修一
- 同 池内 弘道
- 同 宮地 葉子
- 同 山崎 正男